

危険なブロック塀の撤去費用を16万円を上限に補助

市建設課建築係へ早めに相談してください

ブロック塀は、プライバシーの確保や防犯など、私たちの暮らしを守るために重要な役割を果たします。しかし、地震などによる災害時には倒壊や落下など、命を脅かす危険なものへと変わったり、避難や復旧の妨げとなったりすることがあります。所有者や管理者は、責任を持って適切に維持管理しなければなりません。市は、危険なブロック塀などを撤去する人に対し、その費用の一部を補助します。

■対象となるブロック塀 コンクリートブロック造、石造、れんが造、その他の組積造による塀
※門柱やフェンス、門扉、土留め部分の撤去は対象外です。

■補助対象者 次の全てに該当する人
▷ブロック塀などを撤去する所有者や管理者▷同一敷地で、過去にブロック塀などの撤去の補助金を受けたことがない人▷市税を滞納していない人▷暴力団の構成員でない人▷暴力団などと関係がない人

■対象となる工事 診断カルテが総合評点40点未満で、避難通路（住宅や事業所などから避難所や避難場所までの私道を除く経路）に面する高さ1m以上のブロック塀などを全て、または一部撤去する工事。交付決定前に工事着手している場合は、補助対象外
※「一部撤去」とは、撤去した残りが、診断カルテで総合評点70点以上となるもの



地震で倒壊したブロック塀

■補助額 撤去費用の3分の2(1000円未満切り捨て、最大16万円)

詳しくは、市建設課建築係へ問い合わせるか、市公式サイトで確認してください。

【問】同係 ☎77・8544

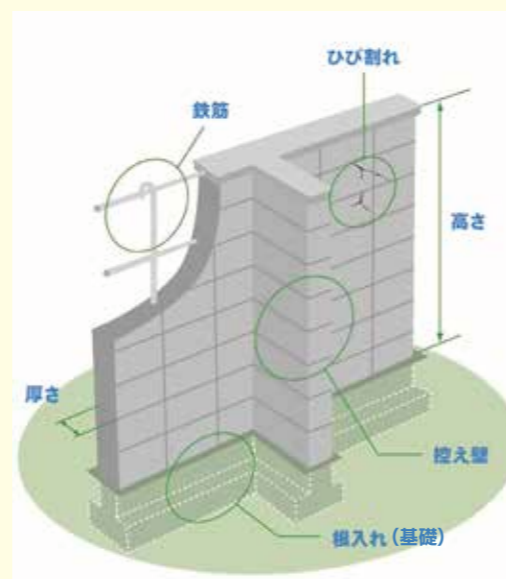


建設課

確認 自宅のブロック塀を確認しよう

地震などの災害でブロック塀が道路に倒れて第三者の命を奪うことになれば、所有者や管理者として責任を問われることになりかねません。次の点検項目のうち、1つでも該当するところがあれば、施工者や工務店などへ相談してください。

- ①塀の高さが地盤から2.2mより高い
- ②塀の高さが2m以上2.2m以下の場合で、厚さが15cm未満
- ③塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの5分の1以上突出した控え壁がない
- ④コンクリートの基礎がない
- ⑤塀に傾きやひび割れがある



新しいごみ袋の運用で可燃ごみが減少



シリーズ「ごみ減量をいかにして成功させるか」③

新しいごみ焼却場「有明ひまわりセンター」の稼働まで残りわずか。来年3月からは、みやま市との建設費負担割合を算定する期間に入ります。今回は、昨年度の柳川市とみやま市の可燃ごみの量をお知らせします。

【問】市廃棄物対策課 ☎72・1334

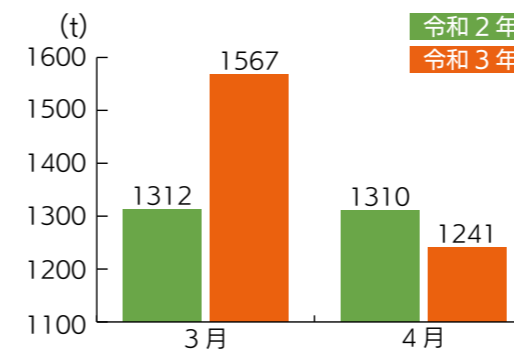
1人当たり1日65グラムの減量が必要

来年3月からは、みやま市と新しいごみ焼却場の建設費の負担割合を算定する期間に入ります。昨年度の柳川市の可燃ごみは、1万6063トン。みやま市は6155トンなので、このままいくと負担割合は約7対3になります。市の目標は可燃ごみの量を10%減らすこと。そのためには、1人当たり1日約65グラム、卵1個分のごみを減らすだけです。

4月の可燃ごみの量は昨年同月よりも6%減

4月から新ごみ袋だけの運用が始まりました。それに伴い、ごみ袋の売れ方に変化が出ています。プラスチック専用袋が爆発的に売れている他、「燃やすすかないゴミ袋」の小サイズが販売枚数を伸ばし始めています。今後、プラスチックや紙の分別が進んでいくと期待しています。それを裏付けるように4月の可燃ごみの量は1241トンで、昨年と比べると6%減少し、3月よりも326トン減少（下図）。可燃ごみの減量に向けて、引き続きご協力をお願いします。

市内の可燃ごみの量



最新の情報はアプリでcheck



ごみ分別アプリ

新しいごみ焼却場の完成イメージ図



新ごみ焼却場の建設費（概算）

121億円

国庫補助
36億円

負担金
85億円

柳川市 7割
60億円

みやま市 3割
25億円

負担割合は来年3月から1年間の可燃ごみの量で決定

よくあるお問い合わせ

Q 燃やすすかないゴミと資源物の収集時間は同じですか？

A 収集時間は同じではありません。資源物の収集時間は、回収ルートやいっぱいになったごみを下ろす場所が違うため、燃やすすかないごみの収集時間と違います。どちらのごみも必ず午前8時より前に出してください。

Q コロナの影響で収集を中断している衣類・毛布類はどのように処分すればいいですか？

A 燃やすすかないごみとして出すか、クリーンセンターに直接持ち込んでください。直接搬入するときは、10kg当たり200円の手数料がかかります。

